



# 長宗我部元親

猛将ではなく、腰の低い智略家だった？  
戦国アニキ、元親の実像

## 猛々しい戦国武将から かけ離れた人物像

近年、「歴女」をはじめとする  
戦国ファンの間で、「アニキ」と呼ば  
れて慕われている長宗我部元親。

土佐が輩出した偉人として、坂本  
龍馬に次ぐほどの絶大な人気を  
誇っています。

「かねてから知っていた古文

書や時々発見される古文書を綿  
密に読み込み、独自の解釈をす  
る。これが歴史研究の醍醐味で  
す。ただし、長宗我部氏は滅亡し  
た大名なので、文書が非常に少な  
いのが残念」と津野倫明教授。長

宗我部氏の研究をしている全国  
でもまれな研究者です。

津野先生が貴重な史料から導  
いた元親の実像は「いわゆる戦国  
大名のイメージとは随分違う」と  
のこと。四国統一に向かってひた  
走る姿から、気性の激しい武将だ

ったような気がしますが、実はそ  
うではない？

「ある僧侶が『元親のことを』しと  
しと述べたまわんは土佐守」と  
歌に詠んでいます。ゆっくり、き  
ちんと話すのは元親だ、という意  
味です。また、二度目の朝鮮出兵  
の直前、目付役の垣見一直に出し  
た手紙には『朝鮮ではあらゆるこ  
とであなたのご意見を聞きます』

と書かれています」

何と、驚くばかりの腰の低さです。  
と書かれています」

「一言でいうと、『いけい  
けどんどん』ではな  
うか。

慎重で熟考するタイプだったた  
くで、四国統一に向かつたのでしょ  
うか。

「一言でいうと、『いけい  
けどんどん』ではな  
うか。

かりではなく、同盟関係を結んだ  
り、取り込んでいたり。外交的な  
戦略で勢力を拡大していくたの  
が、元親のやり方です」



「慶長の役」時の  
長宗我部元親関係図

- ①巨濟島(コジエド)
- ②黄石山(ファンソクサン)
- ③全州(チョンジュ)
- ④珍山(チョンサン)
- ⑤井邑(チョンウブ)
- ⑥古阜(コブ)
- ⑦羅州(ナジュ)
- ⑧泗川(サチヨン)
- ⑨西生浦(ソセンボ)
- ⑩蔚山(ウルサン)
- ⑪見乃梁(キョンネリヤン)



# 長宗我部元親

## 意外！な土佐史



特集

意外！な土佐史

長宗我部元親<主要年表>

1539年／元親、岡豊城に生まれる  
1560年／初陣  
1575年／土佐を統一  
1585年／四国をほぼ制定  
1585年／豊臣秀吉に降伏  
土佐一国を拝領  
1586年／豊後戸次川の合戦  
長男・信親戦死  
1590年／小田原攻め  
1592年／文禄の役  
1597年／慶長の役

6月  
秀吉の下命により浦戸湾から  
豊後(現在の大分県)・佐賀方面へ  
7月  
朝鮮半島釜山へ上陸  
巨濟島(コジエド)の海戦  
8月  
黄石山(ファンソクサン)の戦い  
10月  
泗川(サチヨン)倭城築城に尽力

1598年／日本へ帰国

1599年／京都伏見邸で没す



(秦神社所蔵)「絹本着色長宗我部元親公画像」



元親に関する  
意外なエピソード  
はまだまだあります。朝鮮では、  
現在高知県と深い交流のある全  
羅南道に侵攻していたこと、秦の  
始皇帝の末裔だと本気で信じて  
いたらしいこと。小田原攻めにも  
水軍として参加したこと。

「土佐はあまり豊かな土地ではな  
かった。そういう国を根拠地にし  
ながら、四国をほぼ統一したわけ  
です。その原動力はいったい何だ  
つたのか：これを考えるのはと  
ても面白いですね」

人気抜群の戦国アニキ、元親の  
真の姿を解き明かす。これから  
大学で学ぼうとする若者にとって、とて  
ても魅力的なテーマではな  
いでしょうか。

人文社会科学系  
人文社会科学部門  
教授

津野 倫明

プロフィール

高知県出身、北海道大学文学部卒業、博士(文学)。  
専門は日本中世から近世初期の政治史研究。全国  
でもほぼオーリーワンの長宗我部氏研究者で、卒業論文のテーマも長宗我部氏だった。ほかに慶長  
の役、豊臣政権と大名との仲介役なども研究。著  
書に『長宗我部氏の研究』(吉川弘文館)がある。



出版書籍

## 研究者をとらえる 元親の魅力

元親に関してあまり知られて  
いない事実の一つに、秀吉に降伏  
後、朝鮮出兵にも参加していたこ  
とがあげられます。しかも、長宗  
我部軍は「水軍」の役割を担つて  
いたとか。

「四国の大名はみな水軍の働きが  
できる、と秀吉は考えていたよう  
です。当時の水軍は、もとは海賊  
だったのが大半でした。もちろん、長宗我部氏は海賊ではありません、長宗我部氏は海賊ではありませんが、それなりの水軍を抱えて  
いたのではないか？」

元親に関する  
意外なエピソード

はまだまだあります。朝鮮では、  
現在高知県と深い交流のある全  
羅南道に侵攻していたこと、秦の  
始皇帝の末裔だと本気で信じて  
いたらしいこと。小田原攻めにも  
水軍として参加したこと。

「土佐はあまり豊かな土地ではな  
かった。そういう国を根拠地にし  
ながら、四国をほぼ統一したわけ  
です。その原動力はいったい何だ  
つたのか：これを考えるのはと  
ても面白いですね」

人気抜群の戦国アニキ、元親の  
真の姿を解き明かす。これから  
大学で学ぼうとする若者にとって、とて  
ても魅力的なテーマではな  
いでしょうか。



③韓國/泗川(サチヨン)  
倭城天守台

④忠清道  
⑤全羅道  
⑥全羅北道  
⑦羅州(ナジュ)  
⑧泗川(サチヨン)  
⑨西生浦(ソセンボ)  
⑩蔚山(ウルサン)  
⑪見乃梁(キョンネリヤン)

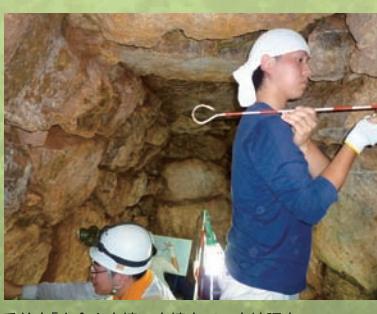
日本海

土佐  
佐賀閻  
浦戸湾

# 高知平野における古墳

教科書にはない、  
地元の歴史を発掘調査！  
高知の知られざる古墳時代。

# 古墳



南国市「定林寺芝1号墳」での測量風景

高知の古墳は  
まだ研究途上

高知に古墳があるんですか？  
という無知な質問に対し、「もちろんです。200年以上もありますよ」と答えたのは、考古学を専門分野とする清家章教授。高知県内の古墳のことを最もよく知る研究者です。

古墳とは何ですか？という問いには「本当は半年ぐらいかけて講義することですけど」と、笑いながら説明してくれました。

「古墳は首長や豪族など、地域の有力者が権力を見せつけるためにつくった、マウンド（人工的な丘）のあるお墓です。古墳を代表する前方後円墳が出てきて消えるまでの、西暦250年から短く考えれば600年ぐらいまで。長く見積もると、奈良時代が始まる710年までを古墳時代と呼びます」

「当然、すぐにはできないので、現場で教えながら進めます。実際の発掘作業については、土の色と質を見ながら、掘つてもいい部分、掘つてはいけない部分を見極めながら掘つていきます」

夏は暑く、冬は寒いなか、地道な作業を続けるのはけつこう辛いとか。しかし、最後には大きな充実感が待っているといいます。

「土器や首飾りでも出でてきたら、学生たちがワーケー！と大騒ぎ。みな感激して、疲れなんて吹き飛びます。一度経験してみないと、この楽しさはわからないでしょうね」



古墳からわかる  
さまざまのこと

清家先生はこれまでに、南国市の明見彦山1号墳や高知市の朝倉古墳ほか、多くの古墳を調査していました。

「土器などの副葬品、古墳の形



香美市「大元神社古墳」での発掘作業



高知市「朝倉古墳」、古墳内での発掘作業



遺跡から出土した土器の見学

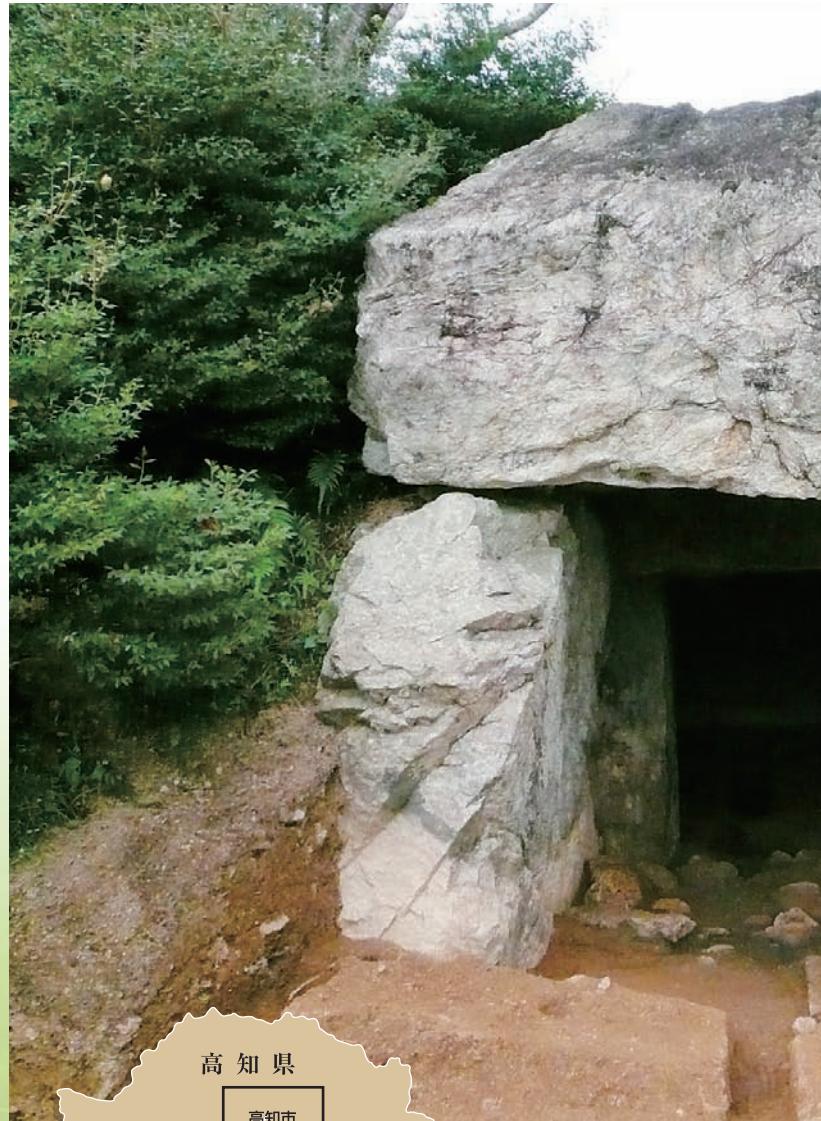
状などから、さまざまなことがわかります。例えば、朝倉古墳は石室の形などが観音寺市の古墳とそっくり。このことから、朝倉の首長は瀬戸内の豪族と親密で、その動きと連動して、土佐での勢力を増したと考えられます

被葬者の骨を調べてみても、多くのことが明らかになるとのことです。清家先生は骨の研究も専門分野で、男女で埋葬されている場合、夫婦ではなくきょうだいであります。清家先生は今後の目標として

「高知県の弥生時代から古墳時代の歴史を書きしるしたい」と話します。

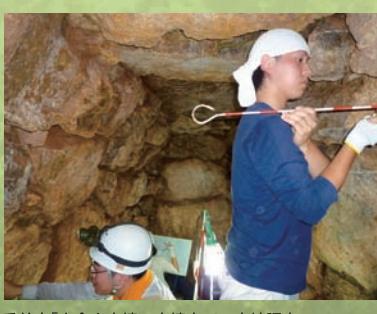
「歴史はわからないことだらけ。教科書にのっているのは、その時代の平均的なことか中央のことだけです。高知についてはほとんど載っていない。地元には地元の誇るべき歴史と文化があります。その息吹を伝えたい」

高知の古墳に関しては、未知な部分がたくさんあるとのこと。清家先生が高知大学に来て10年。これから、まだまだ多くの発見をしていくことでしょう。



清家先生の授業では、実際に古墳の調査も行っています。出土した副葬品を大切そうに持ち、はけで慎重に土を払う。なんてシーンが思い浮かびますが、「ああいうのは最後の数日ぐらい」だとか。

まずは大学の実習室で、図面をひく練習や測量の勉強などをみついよ現場へ。しかしすぐに発掘作業はしないで、等高線を引くなどの測量を綿密に行うそうです。



香美市「小倉山古墳」、古墳内での実地調査



# 低侵襲手術教育・トレーニングセンター レジデントハウス「南風」



## 先端の医療技術の習得をサポート

医療現場で活躍するために、膨大な知識とともに高い技術の習得が求められる研修医たち。今年3月28日に完成したレジデントハウス「南風」は、そんな研修医などの若手医師をサポートするための施設です。

高知県地域医療再生計画に基づき、高知大学だけでなく、県内医療機関の研修医などの教育・研修環境の充実を目的として医学部敷地内に建設されました。鉄筋コンクリート5階建てで、1階が教育研修施設、2~5階に研修医向けの居住スペースが設けられています。

教育研修施設は、医学部生の基本的な診療技能実習などが行えるスキルラボと、低侵襲手術教育・トレーニングセンターが設置されています。

「低侵襲手術」とは、内視鏡手術はじめとする患者さんの負担を軽くする手術方法のこと。センターには、内視鏡手術用のトレーニング機器や、腹腔鏡下手術のシミュレーターなどが揃っています。また、会議室を併設しており、セミナーと実習を一体化させた講義が開催できます。研修医や医師は自由にトレーニングに励むことができるよう、センターは24時間使用可能です。

トレーニング機器の中には、9月に附属病院に導入された手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」のシミュレーターもあります。「ダ・ヴィンチ」は遠隔操作で内視鏡手術を行う最先端の医療機器。通常の内視鏡手術が器具を直接操作するのに対して、患者さんから離れた場所で3次元映像を見ながら器具を遠隔操作します。手ぶれ防止機能などを備え、ミリ単位の作業の正確な実施を可能にしています。シミュレーターで先端の医療技術を気軽に練習できる施設の誕生で、若手医師の成長を支える環境が充実しました。



## 「若手医師の技術向上にどんどん活用します」

低侵襲手術教育・トレーニングセンター長 小林道也教授

「内視鏡手術は、患者さんの負担が少なく、手術創も最小限、術後の回復も早いことから、さまざまな外科的治療で用いられています。しかし、腹部に差し込んだカメラで撮影した2次元画像を見ながら器具を操作しなければならないので、遠近感など独特の感覚の習得を必要とします。

そのためにはトレーニング機器を使つた訓練が欠かせません。とくに、これから経験を積まなければいけない研修医や若手医師にとっては、スキルアップにつながる大切な練習です。また、「ダ・ヴィンチ」という最先端の医療機器について学ぶことができるという環境になったのも、研修医にとっていい勉強になるでしょう。患者さんに安心して手術を受けてもらいたため、現場で活躍できる医師の育成にセンターは大きな役割を担っています」

医学系 臨床医学部門 教授  
医学部附属病院  
がん治療センター部長  
**小林道也**  
高知大学医学部(旧・高知医科大学)、および同大医院卒業。医学博士。内視鏡手術の第一人者として診療、講演、学会、セミナーなど忙しい日々を送っています。

「いま空手道部は室戸貫歩を方として支えています。事前に参加要項の作成や地域への挨拶回りを行い、当日はゴール地点で記録を測ったり、温かいあ湯を配つたりします。大切にしているのは、先輩から受け継いできた伝統を守り続けること。今後も空手道部と室戸貫歩を存続させることを誓います!」

# 室戸貫歩

90キロの道のりが繋ぐ  
地域との絆



90キロの道のりは自分との戦い。



地域の方々の応援に心がなごむ。

今年も全力で  
サポートを!

栗田 健吉さん  
高知大学空手道部員

「いま空手道部は室戸貫歩を方として支えています。事前に参加要項の作成や地域への挨拶回りを行い、当日はゴール地点で記録を測つたり、温かいあ湯を配つたりします。大切にしているのは、先輩から受け継いできた伝統を守り続けること。今後も空手道部と室戸貫歩を存続させることを誓います!」

みなさん  
ぜひご参加を!



身の鍛錬を目的に始めたもの。それから、部活動のユニフォームを着ている集団もいれば、羽織袴や着ぐるみで歩く人も。1等を目指して走る者、帰りも徒步という猛者もいます。

最初は、昭和36年に空手道部が心身の鍛錬を目的に始めたもの。それから、部活動のユニフォームを着ている集団もいれば、羽織袴や着ぐるみで歩く人も。1等を目指して走る者、帰りも徒步という猛者もいます。

朝9時にスタートして、参加者は思い思いのペースで一路東に向かいます。部活動のユニフォームを着ている集団もいれば、羽織袴や着ぐるみで歩く人も。1等を目指して走る者、帰りも徒步という猛者もいます。

最初は、昭和36年に空手道部が心身の鍛錬を目的に始めたもの。それから、部活動のユニフォームを着ている集団もいれば、羽織袴や着ぐるみで歩く人も。1等を目指して走る者、帰りも徒步という猛者もいます。

スタート直後。序盤は順調だが…。



テレビの取材に笑顔で  
答える学生たち



約20キロ地点まだまだ余裕?



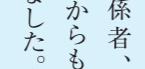
まだまだ!



夜須にて。疲労もいよいよ  
ピークに??



ついにゴール!! 室戸で見る  
朝焼けは格別



成長・晩秋の風



加えるようになります。今では  
約500名が参加  
する大イベントに



加えるようになります。今では  
約500名が参加  
する大イベントに



成長・晩秋の風



成長・晩秋の風



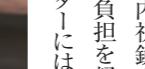
成長・晩秋の風



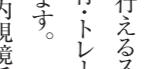
成長・晩秋の風



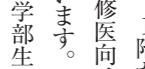
成長・晩秋の風



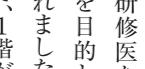
成長・晩秋の風



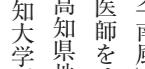
成長・晩秋の風



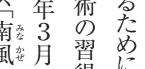
成長・晩秋の風



成長・晩秋の風



成長・晩秋の風



成長・晩秋の風



成長・晩秋の風

## 第52回 室戸貫歩のご案内

日時:11月23日(金) AM7:30 集合(雨天決行)  
AM8:30 開会式  
AM9:00 出発

日時:11月24日(土) PM3:00 最終到着期限

集合場所:高知大学メディアの森前(朝倉キャンパス内)

コース:国道33号線から55号線を通り室戸岬へ向かう

ゴール:室戸岬(中岡慎太郎像の前の広場)

参加料:1,000円(参加賞・タオル・保険料を含む)

事前の申込が必要です。詳細については、近日中に

ホームページのイベント欄に掲載しますので、そちらをご覧ください。

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

みなさんが  
ぜひご参加を!

今年も全力で  
サポートを!

栗田 健吉さん

「いま空手道部は室戸貫歩を方として支えています。事前に

参加要項の作成や地域への挨拶回りを行い、当日はゴール地点

で記録を測つたり、温かいあ湯を配つたりします。大切にしているのは、先輩から受け継いだ伝統を守り続けること。今後も空手道部と室戸貫歩を存続させることを誓います!」

# 高知大学ニュース

**持つ薬剤師を育てる**

高知大学医学部は、8月6日、徳島文理大学薬学部と「薬学教育と研究に関する連携協定」を締結しました。今日、医療技術の進歩とともに薬物療法の高度化、また、高齢化の加速に伴い医療需要が増大する中、医師の負担が大きくなっています。



## 徳島文理大学薬学部と 学部間協定を締結

担軽減、医療の質の向上および医療安全確保の観点から、薬剤師には、チーム医療に積極的に参加すること、また、高い対応能力・探求研究能力が求められています。

これら社会的要請を受け、平成18年に学校教育法が改正され、質の高い薬剤師を育成するための課程は、修業年限が6年となり、平成24年より臨床教育経験を有した6年制薬剤師が輩出されました。

しかし、一方では、全国的に医師、薬剤師等の医療従事者の地域偏在・職域偏在がすすみ、高知県でも医療スタッフの確保等に苦慮し、是正すべき課題となっています。

医学部・薬学部における教育、研究は、一大学単独ではなく、複数の大学が連携し対応していく「大学間連携共同教育推進事業」が必要とされ、国も推進しています。今回の協定の締結により、両大学の医学教育・薬学教育における研究水準の充実と発展、さらには医師の負担軽減・薬剤師の確保等が期待されます。



## 体験談を交えながら 社会福祉を解説

9月1日、高知大卒業生・村木厚子氏が高知大学

南溟会(文理、人文、理学部同窓会)に講師として招かれ、「支えること、支えられること」と題して記念講演を行いました。講演は村木氏が長年手がけてこられた社会福祉政策などを中心に、障害者問題や子育て対策等について、表や図を用いてわかりやすく解説。また、ご自身に起こった突然の事件について、「晩にして支える側から、支えられる側になった」と、ユーモアを交えて秘話を披露、集まつた多くの同窓生らは村木氏の講演に熱心に聴き入っていました。本年9月より厚生労働省社会・援護局長に就任。



## 高知大学サッカー部 10年連続天皇杯選手権出場



## サッカーの日本!! 争う天皇杯!!

高知大学サッカー部は、高知県予選大会を勝ち抜き、第92回天皇杯全日本サッカー選手権大会に10年連続17回目の出場を果たしました。天皇杯は、1921年に開始された日本最大のサッカーのカツブ戦であり、サッカー日本一を争う大会です。9月2日に春野陸上競技場で1回戦のソニー仙台FC戦が行われ、高知大学は0対1で惜敗しました。

## 理学部門 奈良正和 准教授 日本古生物学会学術賞受賞



古生物学界の中でも最も権威のある賞を受賞

日本古生物学2012年会において、自然科学系理学部門奈良正和准教授が、本邦の古生物学のなかで最も権威ある賞の一つか、日本古生物学会学術賞を受賞しました。これは、准教授が浅海域の生痕化石の研究について独創的観点から発展させてきたことが評価されての受賞です。

高知大学の情報交流の場

## THEこうち ユニバーシティ CLUB会員募集中!!

会費無料

THEこうちユニバーシティCLUBとは?

高知大学の様々な情報が  
タイムリーに届く交流の場です。

高知大学の教育・研究・地域貢献など大学の動きが分かる他、興味のある分野を登録すれば、欲しい情報が届きます。皆様のご入会をお待ちしています。

お問い合わせ先

国立大学法人高知大学 総務部総務課  
TEL.088-844-8640/088-844-8116

E-mail : club@kochi-u.ac.jp

高知大学ホームページ▶http://www.kochi-u.ac.jp/

エコチルの  
お知らせ!



対象地区

- ・高知市
- ・南国市
- ・香南市
- ・香美市
- ・宿毛市
- ・土佐清水市

- エコチル調査センター TEL.0120-53-5252(9時~21時)
- 環境省のエコチルHP http://www.env.go.jp/chemi/ceh/
- 高知ユニッセンター TEL.088-880-2173(土・日・祝日のぞく9時~17時) http://kochi-ecochil.jp/

## こうちエコチル調査 参加者数3000人に

子どもの健康と環境に関する全国調査



2011年1月より県内参加者6000人を目指し実施しています「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」の県内累計参加者が3000人を超えるました。

「エコチル調査」は環境中の物質による子どもへの影響を明らかにするために、環境省が主体となり全国15か所で行われている調査で、高知県内では11地区の妊婦さんにご協力をお願いしています。

12月9日(日)には高知大学朝倉キャンパスで開催される『青少年のための科学の祭典』にも参加しますので、皆さんもぜひ遊びに来てください。

## 農学部門の 石川勝美教授が 歴史ある学会で受賞

農学部門石川勝美教授が、日本生物環境工学会より「生物環境調節ならびに植物工場に関する発表をもつて本会並びに関連学会分野の発展に貢献する者に贈与されました」として、日本生物環境工学会50周年記念貢献賞を受賞しました。

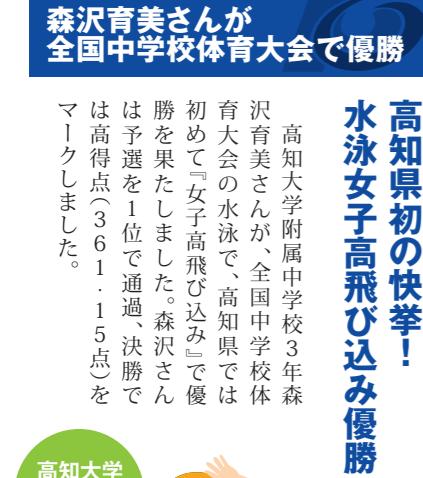
本年度は、インドネシア、ナミビア、ペルー、セントクリストファー・ネービス、スリランカの5カ国から合計7名の政府等機関の職員を研修員として迎え、「海域における水産資源の管理及び培養」コースを開講しています。研修期間は7月17日から10月26日までの予定です。



## JICA集団研修員7名 受け入れ研修を実施

### 自立的発展を目指す

高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設では、独立行政法人国際協力機構(JICA)から委託を受け、開発途上国の自立的発展に資することを目的に、これまで25年間にわたり集団研修事業に漁業訓練コースを提供しています。



森沢育美さんが  
全国中学校体育大会で優勝  
高知県初の快挙!  
水泳女子高飛び込み優勝



日本古生物学2012年会において、自然科学系理学部門奈良正和准教授が、本邦の古生物学のなかで最も権威ある賞の一つか、日本古生物学会学術賞を受賞しました。これは、准教授が浅海域の生痕化石の研究について独創的観点から発展させてきたことが評価されての受賞です。